

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		指定ごみ袋販売事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施 策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	白濱 ひろ子
	基本事業	22	リサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	9
		1	4	2	1	10193		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H6 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成6年度にごみ袋が有料になってから開始した。 合志市指定のごみ袋の製作、ごみ袋を売りさばき店に販売する。 人口の増加及びごみの分別の種類が増加したことに伴い、ごみ袋の製作枚数が増え、納入に係る時間が増加した。 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合した。
【業務の流れ】	ごみ袋の製作(業者選定、仕様書渡し、入札、契約、検査、納品、支払い)事務 在庫管理、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋受け渡し、売捌き手数料の支払い
【主な予算費目】	需用費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	商工会から販売を受託したいという声があがっている。 職員から保管場所を確保して欲しいとの要望がある。 売りさばき店から合志庁舎以外でも販売して欲しいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
在庫管理、ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡しを行い、売捌き手数料を支払った。 ごみ袋販売枚数 可燃 1,814,700枚、資源 559,150枚、埋立 53,250枚、粗大ごみステッカー 2,177枚、ごみ袋収入 45,663,000円 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合した。	ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料の支払い、在庫管理。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 証紙買受申込書枚数	枚
⇒ イ ごみ袋受け渡し回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
ごみ袋売捌き店	⇒ ア 売捌き店の数 件
⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
迅速、正確なごみ袋の受け渡しをする	⇒ ア ごみ袋販売に要する時間 時間
⇒ イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 意図の迅速、正確なごみ袋の受け渡しをすることで事業の効率化が図られるため、成果指標を「ごみ袋販売に要する時間」とし、近年の実績を考慮し目標値を「2,000時間」と設定した。	

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	枚		1179	1103	1200	1258	1200	1200	1200
	イ	回		1179	1200	1200	1258	1200	1200	1200
⑤ 対象指標	ア	件		130	140	140	130	130	130	130
	イ									
⑥ 成果指標	ア	時間		1809	1680	2200	1940	2000	2000	2000
	イ									
投資 事業費 入 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		39,488	25,139	21,504	21,530	31,448	32,240
	(A) 事業費計	千円	0	39,488	25,139	21,504	21,530	31,448	32,240	
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	3	6	7	7	7	7	7	
	延べ業務時間	時間	1,809	1,680	2,200	1,940	2,000	2,000	2,000	
	(B)人件費計	千円	7,182	6,720	8,756	7,721	7,960	7,960	7,960	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,182	46,208	33,895	29,225	29,490	39,408	40,200	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

合志市

事務事業名	指定ごみ袋販売事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)
*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 21年度に、ごみ袋保管用のコンテナを2基増設した。それにより搬入に係る時間を短縮することで目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 システム上、納付書作成に時間がかかっている。商工会等に委託することも検討している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合した。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ごみ袋の製作費と売さばき手数料のみであり、削減できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 商工会等に事務委託することで削減の余地はある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 申請者は収入証紙売捌き店であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 商工会等に事務委託することは可能だと考える。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は、ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料を支払い、在庫管理を行った。また、ごみ袋保管用のコンテナを購入した。 21年度より指定ごみ袋納入事業と統合し事務の簡素化、効率化を図った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善(有効性改善)

☒ 事業のやり方改善(効率性改善)

☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

商工会等に事務委託することで事業の削減は可能である。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務委託することで委託料が生じる。また、消費税、手数料支払い、売りさばき店の取り扱い、契約等問題がないか。